【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年5月19日(2025.5.19)

【国際公開番号】WO2024/252878
【出願番号】特願2025-507858(P2025-507858)
【国際特許分類】
*C08G 59/20(2006.01)*
*C08J 5/24(2006.01)*
*C08G 59/40(2006.01)*
【FI】
C08G 59/20
C08J 5/24 CFC
C08G 59/40

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月12日(2025.2.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
主剤および硬化剤を含む熱硬化性エポキシ樹脂組成物であって、
バイオマス度が７０％以上であり、
前記主剤は、ソルビトール型エポキシ樹脂を含み、
９０℃以上のガラス転移温度を有する硬化物を形成し得る、熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項２】
主剤および硬化剤を含む熱硬化性エポキシ樹脂組成物であって、
バイオマス度が５０％以上であり、
前記主剤は、ソルビトール型エポキシ樹脂（ただし、１分子当たりの平均水酸基数が１．０～２．５のソルビトール型エポキシ樹脂を除く）を含み、
９０℃以上のガラス転移温度を有する硬化物を形成し得る、熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項３】
前記バイオマス度が、７０％以上１００％以下である、請求項２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項４】
前記バイオマス度が、９０％以上１００％以下である、請求項１または２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項５】
前記ソルビトール型エポキシ樹脂のエポキシ当量が、１６２ｇ／ｅｑ以上２００ｇ／ｅｑ以下である、請求項１または２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項６】
前記ソルビトール型エポキシ樹脂のエポキシ当量が、１６２ｇ／ｅｑ以上１８２ｇ／ｅｑ以下である、請求項１または２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項７】
前記硬化剤が、アミン化合物および酸無水物化合物の少なくとも１種を含む、請求項１

または２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項８】
前記アミン化合物が、ルイス酸との錯体を形成している、請求項１または２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項９】
前記錯体の活性化温度が９０℃以上である、請求項７に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項１０】
前記錯体が、炭素数６以上のアルキル基を少なくとも１つ含む３級アミンと、ルイス酸との錯体であり、
前記ルイス酸が、ホウ素およびアルミニウムからなる群より選択される少なくとも１種の化合物である、請求項７に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項１１】
前記アミン化合物が、２つ以上の１級アミノ基を有し、かつエーテル結合を有さない１級ポリアミン化合物である、請求項１または２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項１２】
前記１級ポリアミン化合物が、芳香族ジアミン化合物および脂環式ジアミン化合物からなる群より選択される少なくとも１種である、請求項１０に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項１３】
前記１級ポリアミン化合物が、分岐構造を有する炭素数６以上の主鎖を有する脂肪族ジアミン化合物である、請求項１０に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項１４】
繊維強化複合材料に用いる、請求項１または２に記載の熱硬化性エポキシ樹脂組成物。
【請求項１５】
繊維と、前記繊維に含浸された熱硬化性エポキシ樹脂組成物と、を含み、
前記熱硬化性エポキシ樹脂組成物は、主剤および硬化剤を含み、
前記熱硬化性エポキシ樹脂組成物のバイオマス度が７０％以上であり、
前記主剤は、ソルビトール型エポキシ樹脂を含み、
前記熱硬化性エポキシ樹脂組成物は、９０℃以上のガラス転移温度を有する硬化物を形成し得る、繊維強化複合材料。
【請求項１６】
繊維と、前記繊維に含浸された熱硬化性エポキシ樹脂組成物と、を含み、
前記熱硬化性エポキシ樹脂組成物は、主剤および硬化剤を含み、
前記熱硬化性エポキシ樹脂組成物のバイオマス度が５０％以上であり、
前記主剤は、ソルビトール型エポキシ樹脂（ただし、１分子当たりの平均水酸基数が１．０～２．５のソルビトール型エポキシ樹脂を除く）を含み、
前記熱硬化性エポキシ樹脂組成物は、９０℃以上のガラス転移温度を有する硬化物を形成し得る、繊維強化複合材料。